

<全体方針>

総合計画後期基本計画や総合戦略に掲げる市長方針等に沿った施策を全庁的に推進していくとともに、真に求められる有用な政策の立案や調整を図り、課題等の解決に向け担当部とともに取り組む。また、必要とされる情報の効果的な発信や全庁的な行政 DX 化の推進により市民サービスの向上を図る。あわせて、行政を支える職員の確保やその能力を最大限発揮できる職場環境づくりに努めるとともに、総合排水計画の策定及び着実な実施をはじめ地域防災力の更なる強化や日常生活の安全を支援し「豊かで暮らしやすいまち丸亀」の実現を目指していく。

<課ごとの指導方針>

政策課

総合計画後期基本計画をはじめ、行政改革プランや定住自立圏共生ビジョンなどの着実な推進を図るとともに、人口ビジョンの改訂と次期総合戦略の策定に取り組む。市政のマネジメント機能を発揮し、市長公約や市民ニーズに対応する政策の調整や立案に取り組む。

秘書課

令和7年の市制施行20周年に向け、記念式典をはじめその他関連行事などについて全庁的に取り組んでいく。国際交流については、事業の見直し等を行い、時代に合った国際交流事業を推進していくとともに、相談業務等の支援事業や啓発事業の充実を図り、多文化共生社会の実現に取り組んでいく。また、必要とされる情報が正確かつ迅速に発信できるように、広報紙、ホームページ、SNS 等複数の媒体を有効に活用し、市民が手軽に市政情報を得ることで主体的な市政参加の機会へ繋げる。あわせて、SNS の活用など双方向コミュニケーションを推進することにより市民との相互理解を深める。

デジタル活用推進課

従来の「三層の対策」の基本的な枠組みを維持しつつ、効率性・利便性の高い新情報系ネットワークを構築、安定的な運用に努める。また、国などの動きも見据えながら、総務省が示した自治体 DX 推進計画を基本に本市の DX 推進計画の策定に取り組むほか、行政のデジタル化を全庁的に推進していく。

職員課

多様な働き方が選択できる高齢期職員の実態把握や新規採用の平準化など、第五次丸亀市定員適正化計画に基づき、業務の実態を踏まえた適正な定員管理に努めるとともに、採用試験については、工夫を重ね、様々な手法を検証しながら、優秀な人材確保に努める。また、職員の意識改革や能力向上を図るためには、風通しの良い働きやすい職場環境づくりが必要であることから、引き続き、丸亀市人材育成基本方針に基づき、ワーク・ライフ・バランスの推進に努める。

危機管理課

防災については、ハザードマップ等を活用し、迅速かつ円滑な避難行動へつながるよう周知・啓発を行うとともに、地域防災力の向上に向けた取組に対して支援を行う。また、市の総合的な治水対策を定めた総合排水計画の策定及び事業の進行管理を行い、着実に必要な排水対策を推進する。

令和6年度 各課の重点的取組					最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画	評価 (進捗結果)	所見
政策課 (全庁)	★将来的展望に立った重要政策の推進	●新たな政策課題の解決に向けた関係機関や部局との調整機能の発揮 ●官民連携の推進	○定住自立圏域やその他の広域連携による新規の取組 ○新たな連携促進策の検討	31	C	○圏域内自治体の部門間における協議の庁内調整 ・新規取組 中讃圏消防広域化の検討 ○包括連携協定の新規締結についての調整 ・新規連携先 2件
政策課 (全庁)	★自治基本条例の推進 【重点プロジェクト】	●自治推進委員会からの提言等に基づく取組の展開	○e モニター制度の運用 ・モニターアンケート(5回程度)	No.72	C	○7月からアンケートを開始(6回実施、結果をホームページで公表)
政策課 (全庁)	★SDGs の推進 【重点プロジェクト】	●SDGs の普及啓発 ●SDGs の実践	○「丸亀市のSDGs を考えるワークショップ」の開催 ○SDGs 推進補助金の活用促進	No.80	D	○市民を対象としたSDGs を考えるカードゲーム大会等イベントの開催(参加者10名) ○市内事業者や市民活動団体へSDGs 推進補助金の周知 ・実績なし
政策課 (全庁)	★各種計画の推進 【重点プロジェクト】	●第二次総合計画後期基本計画、第五次行政改革プラン、	○各種計画に掲げる成果指標の達成に向けた進行	31-⑦-1, 2 No.81	C	○所管計画の着実な推進に向け、審議会等で報告・説明しながら各

		第2次国土強靱化地域計画、教育大綱、第3次定住自立圏共生ビジョン、第2期総合戦略の推進	管理 ○人口ビジョン改訂、第3期総合戦略の策定	No82		計画を進行管理 ・総合計画後期基本計画 行政評価委員会（5～8月） 部の重点課題ヒアリング ・未来を築く総合戦略 地域戦略会議（10月） ・行政改革プラン 行政改革推進委員会（11月） ・定住自立圏共生ビジョン ビジョン懇談会（7月） 形成推進委員会（8月） ○人口ビジョンの改訂、第3期総合戦略の策定（3月）
政策課	★移住・定住の促進	●若い世代のUターン促進 ●広域的な取組による関係人口の拡大	○奨学金返還支援制度の運用開始 ○ワーケーションモニターツアーの開催	31-⑤-1	C	○市HP、移住者向けパンフレット、日本学生支援機構HP等へ奨学金返還支援事業補助金の周知 ・申請件数 85 件 ○ワーケーションモニターツアーを実施し、その様子や参加者のインタビューを収めた動画を、市公式 YouTube 等で公開
秘書課 （全庁）	★令和 7 年の市制施行 20 周年に向けた記念式典・事業等の検討・調整	●市全体のさらなる一体感を醸成する機会として各種イベント・記念式典内容の検討・調整	○記念式典素案の作成 ○冠イベント等の開催に向けた検討・調	—	C	○記念式典素案を作成した。 ○冠事業を庁内外から募り、6 年度は市で 6 事業実施し、団体からは 6 事業の届出があった。

			整・実施 ○市政功労者、各界功労者表彰に伴う候補者の把握			○庁内に向け、功労者表彰にかかる候補者の推薦依頼を行い、候補者の集約・把握を行った。
秘書課 (人権課) (福祉課) (教・総務課) (学校教育課)	★平和行政の推進(戦争被害の実相や平和の尊さの次世代伝承)	●啓発事業の実施(平和について考える機会の提供) ●戦争体験を次代に継承する資料の作成	○平和パネル展の開催 ○戦争体験出前講話の開催(教育委員会と連携した小学校への出前講話) ○語り部による平和動画の作成及び配信	25-⑤-1	C	○平和パネル展の開催 8/1～8/18 市役所本庁、綾歌・飯山市民総合センター1階ロビーで実施。これにあわせ、平和メッセージ動画を同所で放映した。 ○戦争体験出前講話 実施する小学校を募ったが要請がなかったため未実施 ○平和メッセージ動画の作成 2名(角谷 勝様、渡邊 平一様)分の動画を作成し、3/31 より動画配信を行った。
秘書課 (学校教育課)	★国際交流の推進	●姉妹都市・友好都市との交流事業の調整	○ヴィリッヒ市、サンセ市、張家港市との具体的な交流事業について検討を行う	16-⑥-1	C	○学生交流を軸とした今後の事業の在り方について検討を行った。 ○張家港市中学生親善使節団の受入 7/27～7/29 中学生親善使節団(引率者3名、中学生9名)受け入れ。生徒はホームステイを体験し、市内中学生との交流会等に参加した。

						○英語での市紹介動画作成プロジェクト 11/9～1/13 市在住中高生 10 名がALTと協力して動画を作成。これを活用したオンライン交流を、1月にヴィリヒ市の中高生 10 名実施。ヴィリヒ市からの要望により、3月に2回目のオンライン交流会も開催した。
秘書課 (危機管理課)	★多文化共生の推進 (外国人と地域住民がともに暮らしやすい環境づくりの推進)	●市国際交流協会と連携した相談事業・交流事業・啓発事業の実施	○防災研修の実施 ・防災バスツアー ・防災講座 ○他団体と連携した多文化共生交流会の実施 ・料理教室 ・文化交流 ・言語交流 ○交流都市の紹介 ・パネル展 ・市広報紙での交流都市紹介(隔月で予定) ○外国人住民のための多言語発信(協会FB等)	16-⑦-1	C	○防災研修の実施 ・防災バスツアー(協力:赤十字県支部) 6/23(4か国26名)参加 ・外国人防災リーダー育成研修会(県主催) 1/26(4か国4名)参加 ・多文化共生型の減災づくり実践研修(JICA四国主催) 3/2(4か国9名)参加 ○他団体と連携した多文化共生交流会の実施 ・国際交流クッキング(共催:丸亀ユネスコ協会) 2/16(7か国41名) ・日本文化紹介講座 茶道体験(協力:丸亀万象会) 6/12(6か国25名)

						・やさしい日本語交流会 (協力:元県国際交流協会スタッフ) 12/1 (7か国 30名) ○交流都市の紹介 ・市庁舎ロビーや「ビールとドイツ音楽の夕べ」等のイベント時においてパネル展示を実施 ・サンセ市、張家港市、ヴィリッヒ市の紹介記事を市広報紙に掲載 (5回) ○協会のHPや Facebook で、やさしい日本語や多言語での発信を継続して行っている。
秘書課	多様な情報発信の充実 【重点プロジェクト】	●読みやすく、分かりやすい広報紙の作成 ●LINEなどのSNSやPR動画を活用したイベント情報・地域の魅力等の発信と、その利用促進 ●分かりやすいホームページの作成と迅速な情報更新	HPアクセス件数 (令和6年度末 180万件) Facebook フォロワー数 (令和6年度末 3,800件) YouTube チャンネル登録者数 (令和6年度末 2,500人) X フォロワー数 (令和6年度末 3,000人) LINE お友だち数 (令和6	27ーNo.70	C	●広報紙のフォントを変更、また、色の統一感を図り、全体のデザインを一新することで、より見やすい紙面となった。 ●LINE 登録者増加キャンペーンを行ったほか、成人式参加者限定アルバムを企画するなど LINE の活用促進に努めた。また、広報紙との連動、各課との連携により、定期的な情報発信を行なった。 ●子育て世代を対象とした

			年度末 5,000 人)			YouTube 動画を含む5本、2市3町合同のPR 動画2 本を作成し、配信した。 ●職員に対して、ウェブアクセシビリティ研修会を開催し、読みやすさや使いやすさなど、ホームページ上で全ての人が必要な情報を得られるための取り組みを推進した。
デジタル活用推進課 (全庁)	★新情報系ネットワークシステムの構築及び安定的な運用管理	●従来の「三層の対策」の基本的な枠組みを維持しつつ、効率性・利便性の高い新情報系ネットワークを運用・管理する	○安定的な運用管理	31-④-1	C	新しい情報系ネットワークを構築し、運用管理を行っている。
	★地域情報化の推進 【重点プロジェクト】	●民間活用による市民向け地域デジタルデバйд支援説明会の開催	○スマホ教室開催回数 年 30 回程度	No. 71	C	丸亀市シルバー人材センター、5 コミュニティセンターでスマホ教室を開催した。 (開催回数 28 回、参加人数 137 名)
	★自治体 DX の推進 【重点プロジェクト】	●行政手続きのオンライン化に対する各課支援	○LoGo フォーム等により電子申請の各課支援	No. 84	C	新規に自転車ヘルメット購入補助など 6 業務導入した。 21 業務で導入済
		●各課ヒアリングによる業務の洗い出しにより AI・RPA の実証実験と本格導入	○AI・RPA による削減時間 (累計 7,600 時間)	No. 84	C	40 業務で AI・RPA 導入済(累計約 7,700 時間削減)

		●自治体の情報システムの標準化・共通化	○基幹系 20 業務システムの標準化移行に対する各課支援	No. 84	C	毎月、担当課、業者と進捗会議を行っている。(10 月に AWS に接続しデータ移行作業を行っている。作業状況は予定通り)
		●DX 推進計画の策定	○国の自治体 DX 推進計画をもとに丸亀市 DX 推進計画を策定する	No. 84	C	予定通り DX 推進計画を策定し、来年度より運用予定である。
	★デジタル人材の育成・確保 【重点プロジェクト】	●情報セキュリティやソフトウェア利用技術研修の実施	○研修参加者 (700 人)	No. 83	C	庁内 PC を扱う職員を対象にリモートラーニングによるパソコン研修を行った。
	★生成 AI の活用	●生成 AI (Chat GPT) の導入・活用の検討	○自治体用 Chat GPT の導入、ガイドライン作成、活用に向けた各課支援	—	C	年度末に最新の生成 AI 機能搭載ツールである Copilot を導入した。来年度、ガイドライン作成及び活用に向けた支援を行いたい。
職員課 (デジタル活用推進課)	★デジタル人材の育成・確保 【重点プロジェクト】	●デジタル人材の確保	○デジタル人材の採用	No83	D	・行政事務(情報)の採用試験において、情報関連資格を撤廃し、受験資格を緩和して実施したが、受験者は 3 名で最終的に採用まで至らなかった。 引き続き、他市の試験方法を参考としながら、試験日等の早めの広報、電子申請や SPI 試験の実施など工夫しながら受験者数の拡大に努める。
職員課	★働き方改革の推進及	●ノー残業デーの徹底	○時間外を前年度実績	—	C	・課税事務等の恒常的な業務負

	び職場環境の改善 ●時間外勤務の縮減 ●男性の育児休業取得促進 ●ハラスメント対策の充実 ●ストレスチェックによるメンタル対応の充実	から縮減 ○男性の育児休業取得の促進 ○各種ハラスメントの相談受付 ○高ストレス者率の改善		担、各種計画策定更新や事業の見直し、低所得者向け等の給付金業務、機構改革や人事異動に伴う業務の増加により、2月末時点の前年比では約4.7%の増となっているため、引き続き、業務の見直しやノー残業デーの周知など時間外縮減に努める。 ・男性の育児休業取得者（1週間以上取得者）について、9名（消防吏員を除く。）の取得があり、取得率81.8%と前年同時期を上回った。 所属長等からの積極的な声掛けの効果や育休取得の意識も向上していることから、引き続き、ワーク・ライフ・バランスの推進に努める。 ・ハラスメント対策については、継続して相談者の意向に十分に配慮しながら慎重に対応した。 ・令和6年度のストレスチェックの結果、高ストレス率は
--	--	--	--	--

						14.3%で昨年比 1.9%の増となった。引き続き、働きやすい職場環境の整備に努める。
職員課	★適正な定員管理と優秀な人材の確保	●第五次丸亀市定員適正化計画に基づく定員管理 ●専門職の人材確保に向けた手法の試行と検証	○定員管理等ヒアリングによる各部署の実態把握 ○定年引上げに伴う意向調査等による実態把握 ○有効な試験方法の試行や学校訪問等による人材確保に向けた取組	—	C	・定員管理等ヒアリングを実施し、各部署の実態を把握するなど第五次定員適正化計画に基づく定員管理に努めた。 ・60 歳以上の高齢期職員に対して 4 月と 12 月に意向調査を実施し、最終的な人員を把握した。 ・当初の採用計画において、早期退職者数を多めに見込んで計画を立てるとともに、行政（大卒）において、県、高松市の試験日と異なる試験日とすることで受験者数が大きく増加した。辞退者も多くあったが、計画以上の採用ができた。 一方、土木職については、社会人経験者枠の受験資格を緩和して実施したが、計画通りの採用には至らなかった。 引き続き、試験日程等の早めの広報、電子申請や SPI 試験の

						実施、就職説明会の開催、香川大学への説明会参加など人材確保に向けた取組を実施するほか、受験科目の見直しなどあらゆる方法で応募者の増加に努める。
危機管理課	★自主防災組織の体制強化 【重点プロジェクト】	●地区防災計画の策定促進	○地区防災計画策定済の地区数(令和 6 年度末 17 地区)	No.27	D	・2 地区が策定(うち 1 地区が県補助金を活用)。令和 6 年度末で 14 地区が策定済。
排水対策連絡会	★浸水被害対策の推進 【重点プロジェクト】	●総合排水計画の策定及び進行管理	○策定の時期(遅くとも令和 6 年 10 月まで) ○進行管理の時期(令和 7 年 2 月)	No.26	C	・重点地区の選定根拠及び選定結果、また排水対策の効果予想を参考資料として追加し、計画書の内容の充実を図った。 ・策定に日数を要したため、年度末の公表となった。